

健康

徳大病院
元気を
支える
医療



安陪晋
口腔顔面痛・
顎関節症部門
部門長

と増進に貢献しています。その中で口腔顔面痛・顎関節症外来は、口腔内や顔の痛み、顎の違和感や機能障害など、一般的な歯科疾患と異なる症状の診療をしています。特に顎関節症は虫歯や歯周病に次いで歯科の主要な疾患の一つとされており、決して珍しい病気ではありません。歯科の痛みといえば虫歯を思い浮かべる人が多いかもしれ

口腔顔面痛・顎関節症外来の診療の流れ



食事・生活の質向上目標

れません。しかし実際は▽顔や舌がピリピリする▽何もしていないのに痛み▽口が開けにくい▽などの症状に悩まれる人が少なくありません。顎関節症の症状は食事の楽しみを損なうだけでなく、会話や日常動作、さらには社会生活にも影響を及ぼし、生活の質を大きく低下させる要因となります。

当外来には日本顎関節学会、口腔顔面痛学会と関連分野の専門医・認定医が在籍しており、歯科と内科の両面から診療します。顎関節症はCTやMRIなどの画像検査を活用し、歯科放射線の専門医と連携しながら骨や関節、筋肉の状態を多角的に調べます。口腔顔面痛では特殊な治療器や薬剤を使って痛みを緩和したり取り除いたりします。

これらの疾患は虫歯のように原因が目に見えるわけではなく、「削る」「詰める」などの処置では改善しません。そのため患者さんの話を丁寧に聞き、症状の経過や生活背景を含めて総合的に判断することが重要となります。日常的には気にならない癖やストレス、生活習慣が関係していることもあり、多面的に原因を探っていきます。治療は長期にわたることもありますが、患者さんと共に症状の改善を目指すことを大切にしております、一人一人に合わせた治療をしています。

多様な口腔顔面痛に対応